

**世界中の名コースをプレイされているゴルファーにお知らせしたいと思います。**

アメリカのゴルフ雑誌『ゴルフ・ダイジェスト』誌と『ゴルフ・マガジン』誌はそれぞれ「世界名コース 100 選」を選定していることはご存知のことと思います。世界のゴルフに精通した 100 人前後のセクターたちで構成される「100 選コース選考委員会」で、厳正な基準のもと、世界の名コースを選出しています。日本から今までに選ばれたのは、廣野や川奈などほんの数コースにすぎません。

そんな中、なんとカレドニアン・GC は過去 10 年以上にわたり、毎年ノミネートされてきました。カレドニアンはモダン・クラシック時代を画するスコットランド志向の名コースとして、世界から高く評価されてきたのです。日本の国内雑誌の、あいまいな基準での評価とは別格の、世界基準での本物としての評価を受けているコースであるということ、会員の皆様は誇りにしてください。

この 100 選のコース選考の基準条件は次の 8 項目です。

#### 1. ショット・ヴァリュー<Shot Values>

最も重要視されるポイントで、この条件だけはポイントを 2 倍して計算する。クラブごとの飛距離、正確性、次のショットへの関連性など条件も高度である。

#### 2. スコアへの抵抗度<Resistance to Scoring>

チャンピオンシップ・ティからスクラッチ・プレイヤーがプレイし、フェアでありながら、どれほど難しいか。

#### 3. デザイン・バランス<Design Balance>

距離、地形、ハザードの位置、グリーンの形状、アンジュレーションなどが変化豊かにコースを造りあげているか。

#### 4. メモラビリティ<Memorability>

各ホールに個性があり、しかも、1 番から 18 番まで一貫した流れがあること。プレイ後、明確に各ホールが印象的であること。単調さを極力避けること。

#### 5. エステティックス<Esthetics>

景観の美しさがゴルフをより楽しいものにする。オーガスタ・ナショナルに代表されるコースの美しさである。

#### 6. コースのコンディショニング<Conditioning>

評価するためにプレイした日のティ、フェアウェイの整備、グリーンのスปีド、バンカーの砂の状態など細かく見る。しかも、2 年に 1 回ずつ発表されるから管理の人も会員も安心はできない。

#### 7. 伝統<Tradition>

どのような歴史がつくられてきたか、公式競技を開催したか、コース設計はどのように寄与したかなど。古いクラブは有利だが、それだけではなく、ゴルフの歴史に対する関心度も考慮に入れられる。日本ではまったく無視されている点だ。

#### 8. 歩けること<Walkable>

米国ではコースを歩けることの重要性を大切にしている。カートしか認めないコースは得点が少なく、いつでも歩いてラウンドできるコースにボーナスポイントが与えられる。